

12月21日

ハンセン病患者
魂の詩人

塔和子さん的人生

風の舞

—かぜのまい—

タイトルにもなった「風の舞」とは国立療養所大島青松園に建立されたもの。この島で生涯を終えた人々の魂がせめて、風に乗って解き放たれることを願って名付けられました。

「市制40周年記念人権を考える上映会」としてドキュメンタリー「風の舞」が上映されます。主催は市民有志による伊勢原上映会実行委員会(吉岡正修会長)。

映画は幼くしてハンセン病を発病。瀬戸内海の小さな島に収容された塔和子さんの極限の中から生まれた詩をモチーフに、多くの元患者さんに、多くの元患者さんたちの姿を重ね、生きることの喜び、希望そして人間の尊厳とは何かを問うもの。「民主主義の世の中、法政国家でありながらハンセン病問題は人权どころか人間性そのものの否定。塔さんの詩と出会って、今まで私は何をしてきたの!」と自分が怒りが始まりでした」と宮崎信恵監督。吉永小百合さんが塔さんの詩を朗読。上映時間60分。

吉岡会長は、樂天家の

ドキュメンタリー「風の舞」を自主上映

12月21日

ハンセン病患者
魂の詩人

塔和子さん的人生

「市制40周年記念人権を考える上映会」としてドキュメンタリー「風の舞」が上映されます。主催は市民有志による伊勢原上映会実行委員会(吉岡正修会長)。

映画は幼くしてハンセン病を発病。瀬戸内海の小さな島に収容された塔和子さんの極限の中から生まれた詩をモチーフに、多くの元患者さんに、多くの元患者さんたちの姿を重ね、生きることの喜び、希望そして人間の尊厳とは何かを問うもの。「民主主義の世の中、法政国家でありながらハンセン病問題は人权どころか人間性そのものの否定。塔さんの詩と出会って、今まで私は何をしてきたの!」と自分が怒りが始まりでした」と宮崎信恵監督。吉永小百合さんが塔さんの詩を朗読。上映時間60分。

吉岡会長は、樂天家の

00円 小・中・高生

無料 チケット販売所

市民文化会館・ひまわりコーポレーション・風海・ワタナベ機工・あまざん館・アサヒシヨツピングセンター・アサクラ時計店・小沼酒店・エフティ

・日時 12月21日(水)
①10時30分～②14時30分～③18時30分～
・会場 市民文化会館
・料金 一般・大学生 8

■問合せ 上映実行委員会事務局 090-1437-8954 吉田



宮崎監督(2列目中央)と実行委員の皆さん。
11月11日の試写会にて